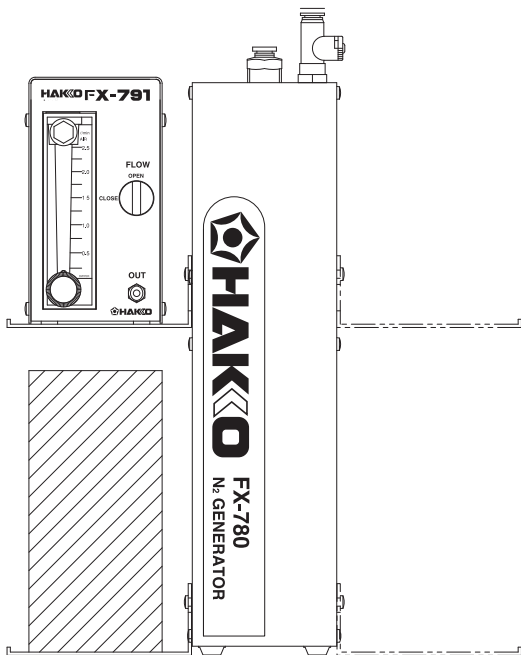




4. 使用方法

- ③ 流量調整
接続図に示す流量制御バルブにより流量を調節します。

ハッコーFX-780は入力する圧縮空気の圧力と排出する窒素ガス量によって窒素ガス濃度が決定されます。下表を参考してください。

		窒素ガス濃度
排出側一定	入力圧縮空気圧高い	高い
	入力圧縮空気圧低い	低い
入力空気圧一定	排出窒素ガス量少ない	高い
	排出窒素ガス量多い	低い

別表のハッコーFX-780性能表より入力圧縮空気圧と窒素ガス排出量を設定してください。

- ⚠ 注意**
接続図に示す窒素ガス流量制御バルブで窒素ガスの排出を行う場合、ハッコーFX-791のバルブを開めた状態でもハッコーFX-780の内部は高圧になっています。使用中、長時間流量制御バルブを閉じる場合、ハッコーFX-780の圧縮空気入力バルブを閉め、ハッコーFX-780への圧縮空気入力を止めてください。

- ④ 運転終了
ハッコーFX-780の圧縮空気入力バルブを閉めます。
排出ガス側のバルブ（流量制御バルブ含む）を開放してください。

- ⚠ 注意**
長時間、長期間停止の場合はハッコーFX-780への圧縮空気の入力を停止し、排出ガス側のバルブを開放してください。

● 圧縮空気について

- ① ハッコーFX-780に入力する圧縮空気の条件

入力空気圧	0.3～0.7MPa
入力空気必要量	10ℓ/min.以上
入力空気温度	5～50℃
最高使用環境温度	60℃

- ② 入力圧縮空気の状態
- 相対湿度80%以下の乾燥空気
 - 各種ミスト、ダストを含まない。
（エアフィルター 0.3μm以下を使用する）
（ミストフィルター 0.01μm以下を使用する）
 - 炭化水素類を含まない。
 - 腐食性ガス（硫化水素、亜硫酸ガス、塩化水素、フッ素等の強酸性ガス）を含まない。
 - 強アルカリ性ガス（アミン、アンモニア、苛性ソーダ等）を含まない。

5. トラブル発生時に

- 窒素ガスが排出されない。
- 点検**：正しく接続されていますか。
対処：接続図を参考にハッコーFX-780に適正空気圧の空気が入力されるよう配管してください。
- 点検**：ダストフィルター、ミストフィルターが汚れてガスが流れなくなっていますか。
対処：ダストフィルター、ミストフィルターを清浄化または交換してください。
- 点検**：レギュレーター、バルブが正常に機能していますか。
対処：修理または交換してください。

- ⚠ 注意**
ハッコーFX-780に適正空気圧の空気が入力されているにもかかわらず窒素ガスが排出されない場合、本体にダストミストが混入し、機能なくなっています。メーカーにて内部のモジュールを交換する必要があります。また、誤って入力圧縮空気条件に記述する有害なガスを入力し、窒素ガスが排出されない、排出量が少ない等の場合もモジュール交換の必要があります。

6. メンテナンス

- エアードライヤー、エアフィルター、ミストフィルター、レギュレーター、バルブ等が正常に機能しているか点検してください。
- 配管に漏れがないか点検してください。

7. 部品リスト

● 窒素ガス発生装置

品番	部品名	仕様
FX780-01	ハッコーFX-780	ステーション固定 金具2つ付

● オプション

品番	部品名	仕様
B3024	ステーション固定金具	ねじ付

8. ハッコーFX-780性能表

入力圧縮空気圧 (MPa)	窒素濃度 (%)									
		99.9	99.5	99.0	98.0	97.0	96.0	95.0	90.0	
0.3	発生量	0.15	0.37	0.48	0.66	0.88	1.1	1.3	2.6	
0.4	発生量	0.24	0.57	0.77	1.1	1.4	1.7	2.0	4.4	
0.5	発生量	0.35	0.75	1.1	1.5	1.9	2.2	2.9	5.9	
0.6	発生量	0.48	0.97	1.3	1.8	2.4	3.1	3.5	7.5	
0.7	発生量	0.55	1.2	1.6	2.2	3.1	3.7	4.2	9.2	

窒素ガス発生量 ℓ/min.
入力空気温度 25℃

HAKKO
白光株式会社
https://www.hakko.com
〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号
TEL：(06) 6561-1574 (代) FAX：(06) 6568-0821